



CIMPHONY Plus ご利用に関する情報



CIMPHONY Plus コラボレーション サーバー情報

現在正常に稼働しています。

メンテナンスなどの予定

メンテナンスの予定はありません。

CIMPHONY Plus コラボレーションには、TREND-CORE VR の 2021 年 8 月版（※4.3（4.3.11.0）以降）が必要です。最新版への更新をお願いいたします。

1 CIMPHONY Plus コラボレーション機能とは	2
2 事前準備	3
2-1 VR データをアップロードする	3
2-2 VR ルームの設定を作成する	6
3 コラボレーションの実行	14
3-1 VR ルームを開始する「ホスト（主催者）」	14
3-2 VR ルームを指定する「ゲスト（参加者）」	17
3-3 コラボレーションを実行する「ホスト・ゲスト」	19
4 補足	20
4-1 プロキシサーバを経由するインターネット回線の場合は	20
4-2 複数のネットワークアダプターがある場合は	20
4-3 360°データ（全天球画像/動画）を使用する場合は	21
4-4 TREND-CORE VR で撮影した画像の自動アップロードについて	21

1

CIMPHONY Plus コラボレーション機能とは

本機能は CIMPHONY Plus を利用し、インターネット経由で遠隔地の複数のユーザーが同一の VR 空間を同時に VR 体験する機能です。

※CIMPHONY Plus Professional プランの契約が必要です。

※ゲストは、各々TREND-CORE VR の契約が必要です。

ホスト（主催者）

1. VR データを CIMPHONY Plus にアップロード

TREND-CORE



2. CIMPHONY Plus で VR ルームの設定を作成



3. VR ルームを開始してコラボレーションを実行

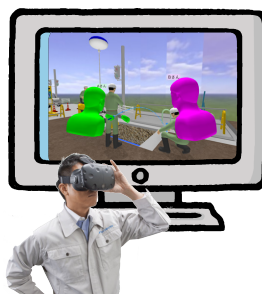
TREND-CORE VR



ゲスト（参加者）

1. VR ルームを指定してコラボレーションを実行

TREND-CORE VR



TREND-CORE VR



TREND-CORE VR



2

事前準備

VR データを CIMPHONY Plus にアップロードして CIMPHONY Plus で「VR ルーム」を作成します。

2-1 VRデータをアップロードする

TREND-CORE から CIMPHONY Plus へ VR データをアップロードします。

- ※ アップロード先の CIMPHONY Plus の現場データは、事前に作成しておいてください。
- ※ アップロード先の CIMPHONY Plus の現場データは、基本情報の「3D を利用する」のチェックが ON になっている必要があります。
- ※ 「参照者」権限のユーザーは、VR データのアップロードはおこなえません。

- 1 TREND-CORE でアップするモデルデータを作成し、
[ホーム] タブ - [プレゼンデータ作成] をクリック
します。



- 2 [VR] をクリックします。



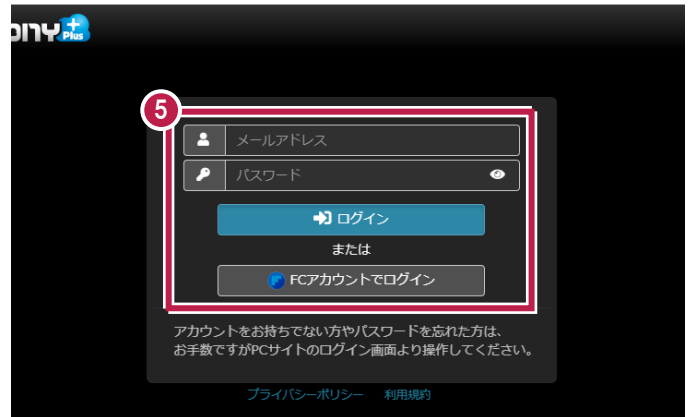
- 3 [環境] [場所] [照明] [点群] の各タブを
設定します。

- 4 [CIMPHONY Plus アップロード] をクリックします。



5 CIMPHONY Plus 連携ツールが起動します。

「メールアドレス」と「パスワード」、または「FC アカウント」で CIMPHONY Plus にログインします。

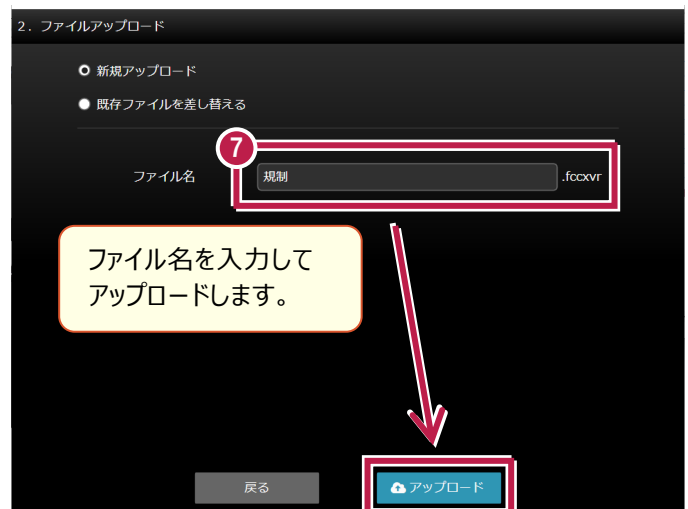


6 現場の一覧が表示されます。
アップロード先の現場を選択します。



7 「ファイル名」を入力してアップロードします。

アップロードする VR データの拡張子は「.fccxvr」になります。



8 ファイルのアップロードが開始されます。

ファイルのアップロードが完了したら【終了】をクリックします。

以上で「VR データのアップロード」は完了です。

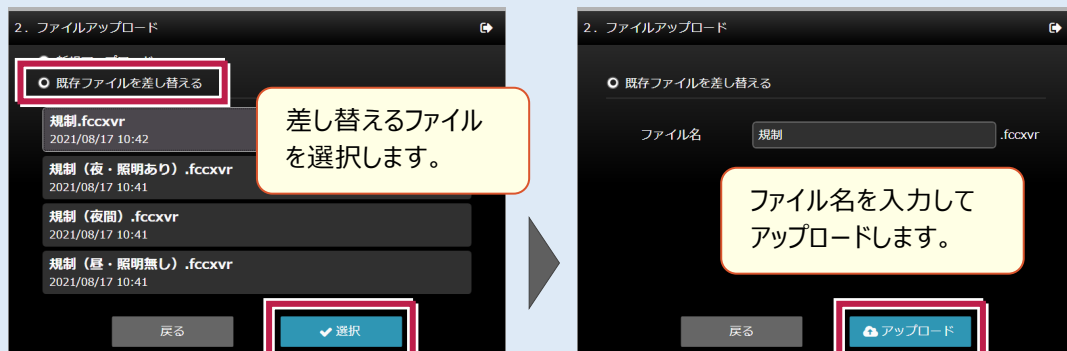


CIMPHONY Plus にアップロード済みの VR データを差し替える場合は

ファイルのアップロード時に「既存ファイルを差し替える」を選択します。

アップロード済みのVRデータが一覧表示されるので、差し替えるデータを選択します。

ファイル名を入力してアップロードすると、データが差し変わります。



CIMPHONY Plus での VR データファイルの格納先は

アップロードしたファイルは、CIMPHONY Plusの「連携」-「TREND-CORE VR」フォルダーに格納されます。



2-2 VRルームの設定を作成する

CIMPHONY Plus にログインして、VR ルームの設定を作成します。

※「参照者」権限のユーザーは、VR ルームの設定の作成や編集はおこなえません。

- 1 CIMPHONY Plus サイトを開いて、「メールアドレス」と「パスワード」、または「FC アカウント」で CIMPHONY Plus にログインします。



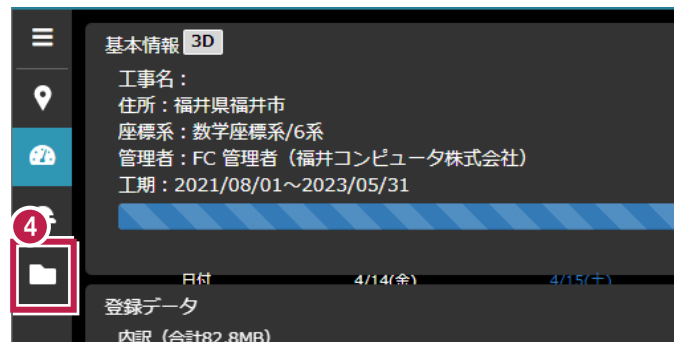
- 2 VR データをアップロードした現場を選択します。



- 3 「現場に入る」をクリックします。



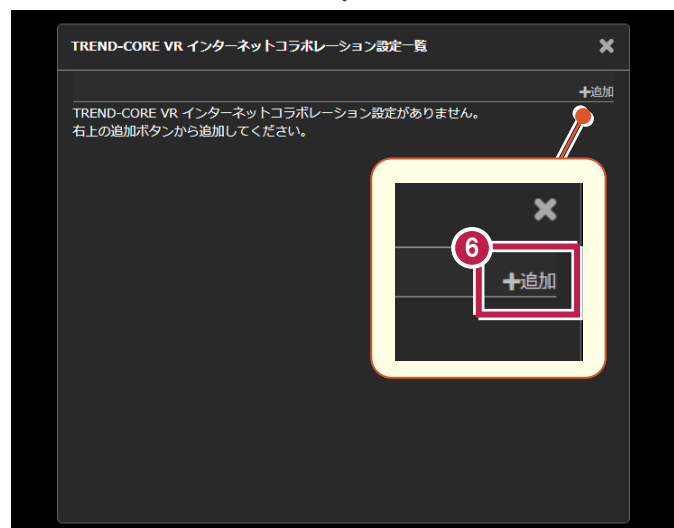
- 4 「ファイル管理」をクリックします。



- 5 画面左下の「TREND-CORE VR インターネット
コラボレーション設定」をクリックします。



- 6 「TREND-CORE VR インターネットコラボレーション
設定一覧」画面が表示されます。
右上の「+追加」をクリックします。



7 「TREND-CORE VR インターネットコラボレーション設定・追加」画面が表示されます。

8 左上の「VR 情報」を入力します。

「※」の付いた項目は、入力必須項目です。

「設定名」「主催者」「開催期間」は

TREND-CORE VRでコラボレーションの設定を選択する際に一覧表示されます。

「開催期間」は

TREND-CORE VRでコラボレーション可能な期間（コラボレーションの設定を選択可能な期間）です。

9 下段の「VR 用データ」に、コラボレーションで使用する VR 用データを登録します。

右下の「+追加」をクリックします。

10 「VR 用データ選択」画面が表示されます。

コラボレーションで使用するデータのチェックをオンにして、「確定」をクリックします。

選択可能なデータは

VR用データとして選択可能なデータは、以下のデータです。

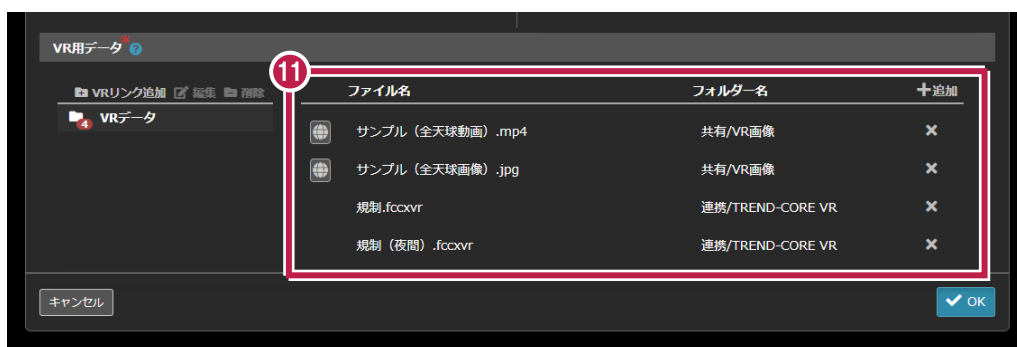
- ・ TREND-COREからアップロードしたVRデータ
- ・ 「共有」フォルダーに登録した360°データ（全天球画像/動画）



登録する VR 用データの容量が大い

TREND-CORE VRでコラボレーションする際に、データのダウンロードに時間がかかることがあります。

11 VR 用データが登録されます。



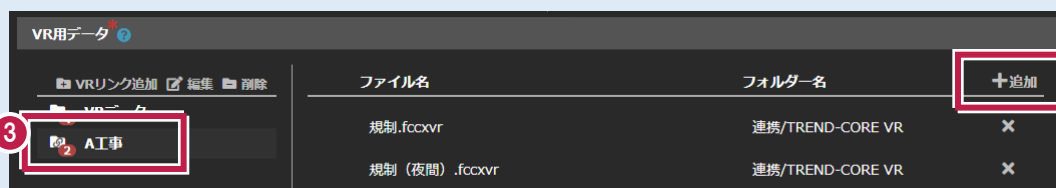
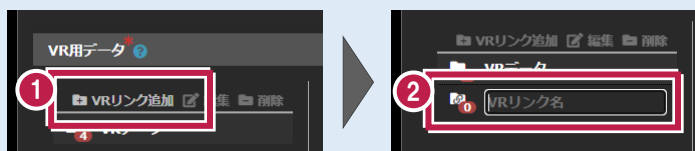
「リンクフォルダー」を作成して VR データを登録することもできます

TREND-CORE VRの「リンクフォルダー」を作成してVRデータを登録することもできます。

リンクフォルダー内にVRデータを登録すると、TREND-CORE VRのコラボレーション時に、同一視点のまま他のVRデータに切り替えることができます。（日中/夜間のデータや、施工前/施工中/施工後のデータの切り替えなどに使用します。）

●リンクフォルダーの作成方法

- 1 [VR リンク追加] をクリックします。
- 2 リンクフォルダーの名称を入力します。
- 3 作成したリンクフォルダーを選択して、VR 用データを登録します。



12 右上の「VR 参加者」を登録します。

「+追加」をクリック
します。

ファイル名	フォルダー名	+追加
サンプル (全天球動画) .mp4	共有/VR画像	×
サンプル (全天球画像) .jpg	共有/VR画像	×
規制.fcovr	連携/TREND-CORE VR	×

13 「VR 参加者追加」画面が表示されます。

本現場に招待されているユーザーが一覧表示
されます。
コラボレーションに参加するユーザーのチェックを
オンにして、「OK」をクリックします。

氏名	会社名
<input type="checkbox"/> FC 管理者	福井コンピュータ株式会社
<input checked="" type="checkbox"/> 社員A	福井コンピュータスマート (株)
<input checked="" type="checkbox"/> 社員B	福井コンピュータ (株)
<input checked="" type="checkbox"/> 社員C	福井コンピュータアーキテクト (株)

14 VR 参加者が登録されます。

氏名	会社名	
社員A	福井コンピュータスマート (株)	×
社員B	福井コンピュータ (株)	×
社員C	福井コンピュータアーキテクト (株)	×

- 15 設定を終えたら、右下の「OK」をクリックします。

TREND-CORE VR インターネットコラボレーション設定 - 追加

TREND-CORE VRでインターネットコラボレーションできるように設定を行います。
インターネットコラボレーションで使用するデータ、VR参加者を設定してください。

VR情報

設定名* 規制（第1回CIMPlusコラボ）

主催者* 社員A

開催期間* 2021/08/18 09:00 ~ 2021/08/25 00:00

備考

VR参加者

氏名	会社名	
社員A	福井コンピュータスマート (株)	×
社員B	福井コンピュータ (株)	×
社員C	福井コンピュータアーキテクト (株)	×

VR用データ

ファイル名	フォルダー名	+
サンプル（全地球動画）.mp4	共有/VR画像	×
サンプル（全地球画像）.jpg	共有/VR画像	×
規制.fcavvr	連携/TREND-CORE VR	×
規制（夜間）.fcavvr	連携/TREND-CORE VR	×

キャンセル

OK

- 16 「TREND-CORE VR インターネットコラボレーション設定・詳細」画面が表示されます。

TREND-CORE VR インターネットコラボレーション設定 - 詳細

TREND-CORE VRでインターネットコラボレーションできるように設定を行います。
インターネットコラボレーションで使用するデータ、VR参加者を設定してください。

←一覧に戻る

VR情報

設定名 規制（第1回CIMPlusコラボ）

主催者 社員A

開催期間 2021/08/18 09:00 ~ 2021/08/25 00:00

備考

VR参加者

氏名	会社名
社員A	福井コンピュータスマート (株)
社員B	福井コンピュータ (株)
社員C	福井コンピュータアーキテクト (株)

VR用データ

ファイル名	フォルダー名
サンプル（全地球動画）.mp4	共有/VR画像
サンプル（全地球画像）.jpg	共有/VR画像
規制.fcavvr	連携/TREND-CORE VR
規制（夜間）.fcavvr	連携/TREND-CORE VR

編集

VR参加者にメール

- 17 右上の「VR 参加者にメール」をクリックします。

VR参加者

氏名	会社名
社員A	福井コンピュータスマート (株)
社員B	福井コンピュータアーキテクト (株)
社員C	福井コンピュータ (株)

編集

VR参加者にメール

- 18 コラボレーションへの参加の招待メールが作成されますので、「宛先」や「CC」を設定して、参加者にメールを送ります。

※「宛先」「CC」は自動設定されません。

現場名、設定名などは
コラボレーション時に必要
になるため、変更しないで
ください。

18

送信(S) 宛先(I) CC(C) 件名(U) VRのお知らせ

CIMPHONY Plus のご利用、誠にありがとうございます。
TREND-CORE VR インターネットコラボレーションへの参加依頼が届いています。

現場名：現場 A
設定名：規制（第 1 回 CIMPlus コラボ）
開催期間：2021/08/18 09:00～2021/08/25 00:00
主催者：社員 A
ログイン URL : <https://cimphonypluspage.fbsystems.co.jp/VRnet>

- 19 「一覧に戻る」をクリックします。

19

TREND-CORE VR インターネットコラボレーション設定 - 詳細

TREND-CORE VRでインターネットコラボレーションできるように設定を行います。
インターネットコラボレーションで使用するデータ、VR参加者を設定してください。

←一覧に戻る

VR参加者

氏名	会社名
社員A	福井コンピュータスマート (株)
社員B	福井コンピュータ (株)
社員C	福井コンピュータアーキテクト (株)

VR用データ

ファイル名	フォルダー名
サンプル (全天球動画) .mp4	共有/VR画像
サンプル (全天球画像) .jpg	共有/VR画像
規制.fccxvr	連携/TREND-CORE VR
規制 (夜間) .fccxvr	連携/TREND-CORE VR

- 20 「TREND-CORE VR インターネットコラボレーション 設定一覧」画面に戻ります。

VR ルームの設定が追加されていることを確認し、
右上の「×」をクリックして閉じます。

20

TREND-CORE VR インターネットコラボレーション設定一覧

規制（第1回CIMPlusコラボ）

主催者 社員A
開催期間 2021/08/18 09:00 ~ 2021/08/25 00:00

追加した設定

21 ファイル管理に戻ります。

以上で VR ルームの設定の作成は完了です。



3

コラボレーションの実行

ホスト（主催者）が「VR ルーム」を開始した後、ゲストが「VR ルーム」を指定してコラボレーションを実行します。

3-1 VRルームを開始する「ホスト（主催者）」

「ホスト（主催者）」の TREND-CORE VR を起動して、CIMPHONY Plus で作成した「VR ルーム」を開始します。

- 1 「ホスト（主催者）」の TREND-CORE VR を起動します。



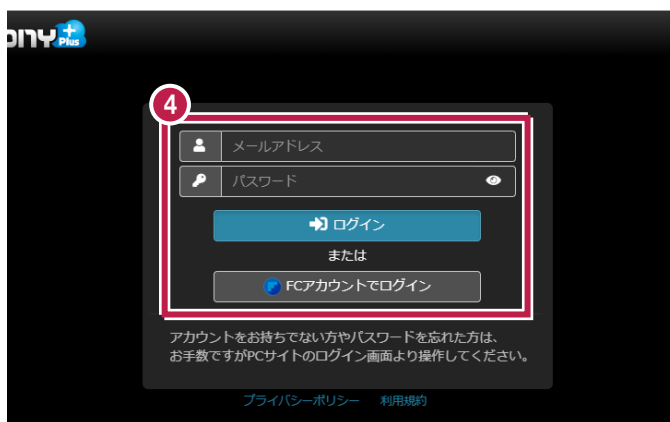
- 2 「コラボレーション」で「CIMPHONY Plus」を選択します。

- 3 「ルームの指定」をクリックします。



- 4 CIMPHONY Plus 連携ツールが起動します。

「メールアドレス」と「パスワード」、または「FC アカウント」で CIMPHONY Plus にログインします。



- 5 招待されている現場の一覧が表示されます。

コラボレーションする現場を選択します。

コラボレーションする現場名と VR ルームの設定名は TREND-CORE VR インターネットコラボレーションへの参加の招待メール内に記載されています。

TREND-CORE VR インターネットコラボレーションへの参加依頼が届いて	
現場名: 現場 A	現場名
設定名: 規制 (第 1 回 CIMPlus コラボ)	VRルーム 設定名
開催期間: 2021/08/18 09:00~2021/08/25	
主催者: 社員 A	
ログイン URL: http://www.cimphonyplus.com/room/123456789	



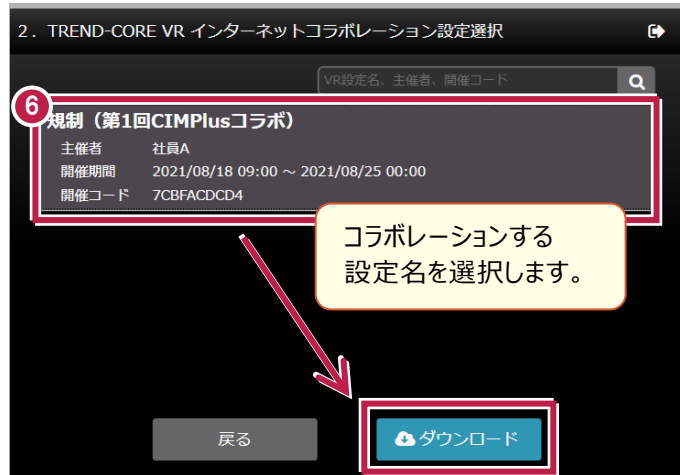
6 現場内の VR ルームの設定が一覧表示されます。

コラボレーションする VR ルームの設定名を選択してダウンロードします。

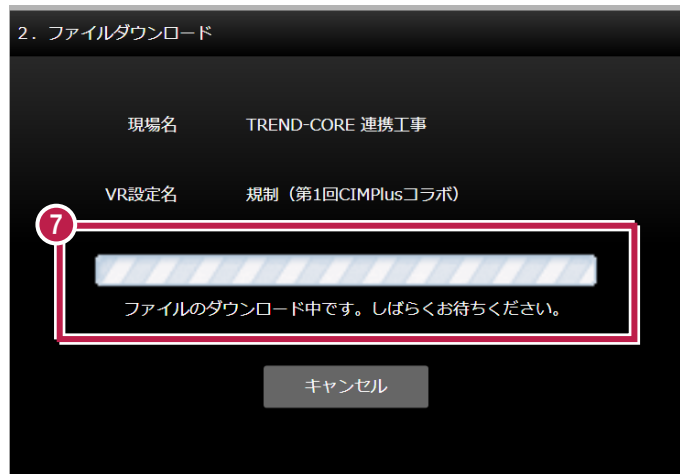
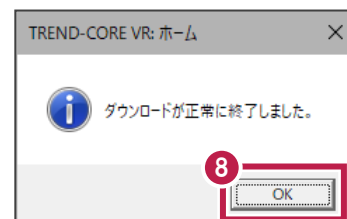
コラボレーションの「開催期間」が過ぎている場合は VR ルームの設定名は表示されなくなります。

「開催コード」とは

VRルームの設定に自動で割り振られるコードです。コラボレーションで同じVRルームに参加しているかの確認に使用してください。

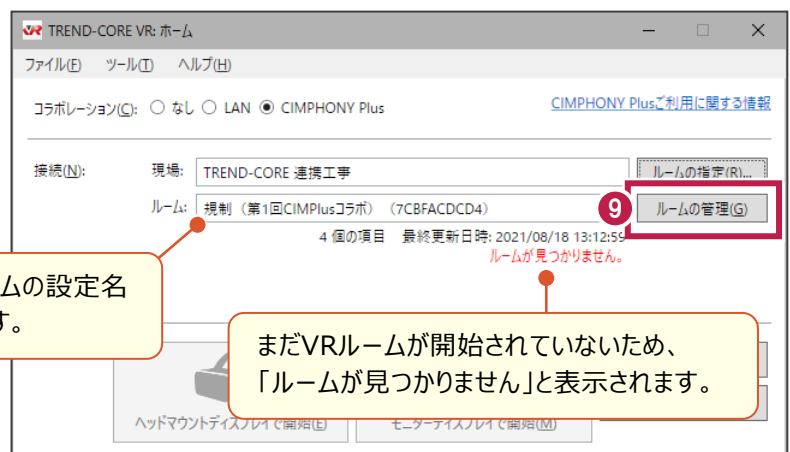
**7** コラボレーションに必要なファイルがダウンロードされます。

しばらくお待ちください。

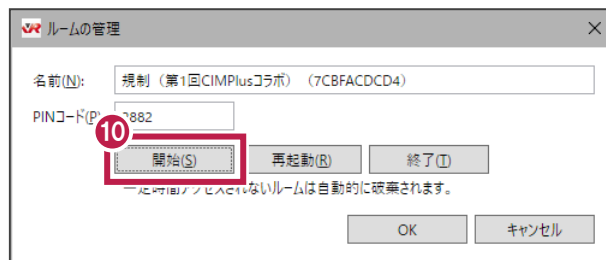
**8** ダウンロードが終了したら [OK] をクリックします。**9** 「ルームの管理」をクリックします。

コラボレーションするVRルームの設定名と開催コードが表示されます。

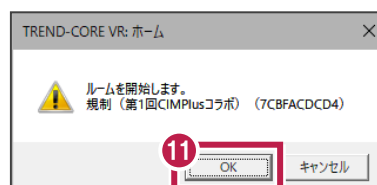
まだVRルームが開始されていないため、「ルームが見つかりません」と表示されます。



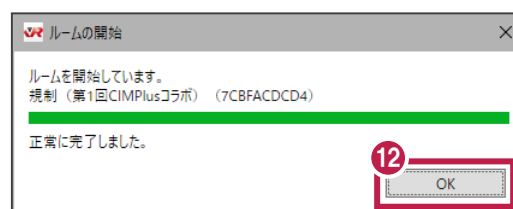
- 10 「開始」をクリックします。



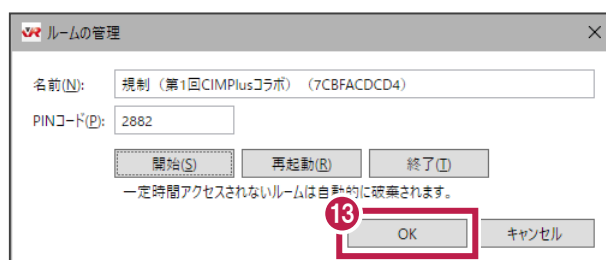
- 11 「OK」をクリックします。



- 12 VR ルームが開始されます。
正常に完了したら「OK」をクリックします。



- 13 「OK」をクリックします。



- 14 TREND-CORE VR ホームに戻ります。
以上でコラボレーション時にホスト（主催者）
がおこなう「VR ルームの開始」は完了です。



「VR ルーム」の待機時間は「10分」です

開始した「VRルーム」は、コラボレーションがおこなわれないまま10分が過ぎると、自動終了します。再度「開始」してください。

3-2 VRルームを指定する「ゲスト（参加者）」

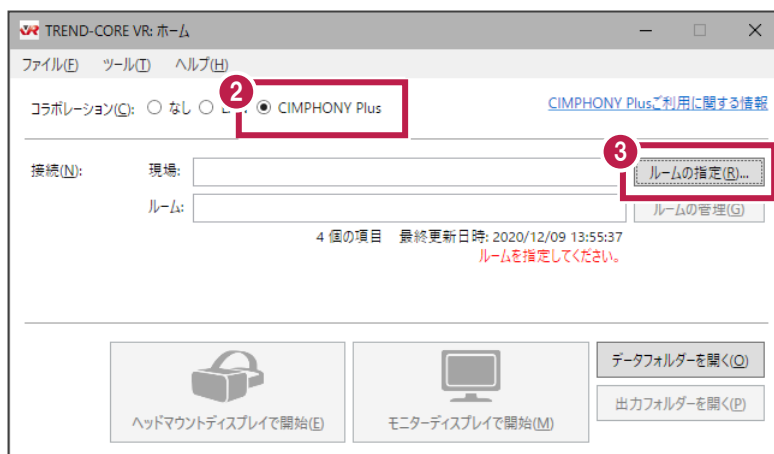
「ゲスト（参加者）」の TREND-CORE VR を起動して、ホストが開始した「VR ルーム」を指定します。

- 1 「ゲスト（参加者）」の TREND-CORE VR を起動します。



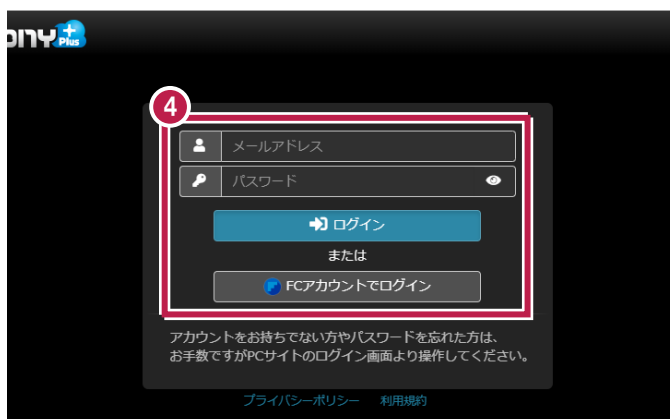
- 2 「コラボレーション」で「CIMPHONY Plus」を選択します。

- 3 「ルームの指定」をクリックします。



- 4 CIMPHONY Plus 連携ツールが起動します。

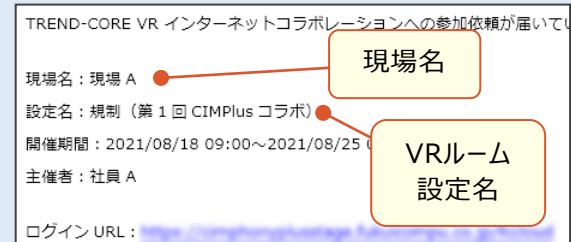
「メールアドレス」と「パスワード」、または「FC アカウント」で CIMPHONY Plus にログインします。



- 5 招待されている現場の一覧が表示されます。

コラボレーションする現場を選択します。

コラボレーションする現場名と VR ルームの設定名は TREND-CORE VR インターネットコラボレーションへの参加の招待メール内に記載されています。



6 現場内の VR ルームの設定が一覧表示されます。

コラボレーションする VR ルームの設定名を選択してダウンロードします。

コラボレーションの「開催期間」が過ぎている場合は VR ルームの設定名は表示されなくなります。

「開催コード」とは

VRルームの設定に自動で割り振られるコードです。コラボレーションで同じVRルームに参加しているかの確認に使用してください。

7 コラボレーションに必要なファイルがダウンロードされます。

しばらくお待ちください。

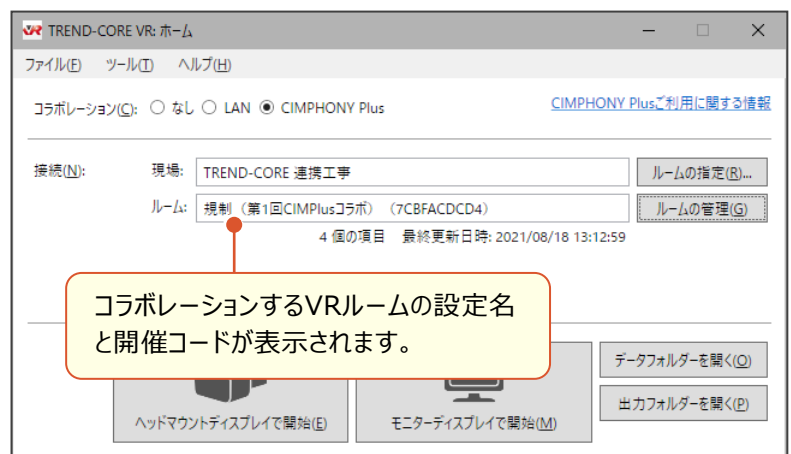
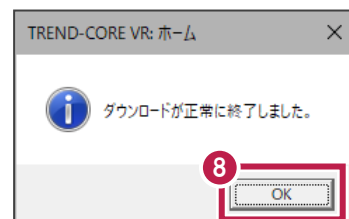
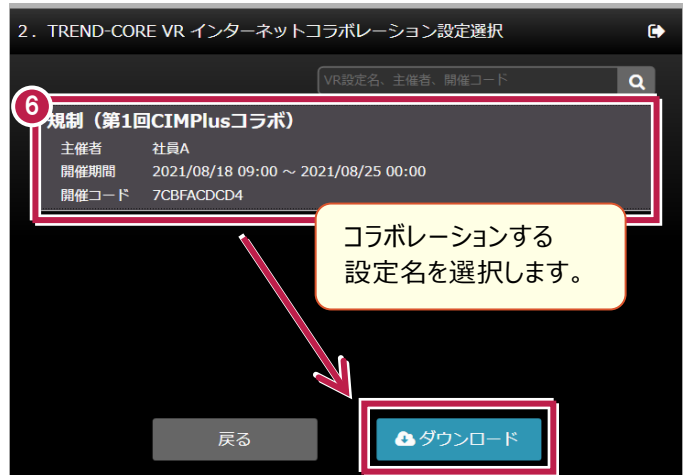
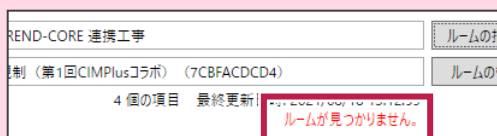
8 ダウンロードが終了したら [OK] をクリックします。

9 TREND-CORE VR ホームに戻ります。

以上でコラボレーション時にゲスト（参加者）がおこなう「VR ルームの指定」は完了です。

「ルームが見つかりません」と表示される場合は

ホスト（主催者）が「VRルーム」を開始していない場合は、「ルームが見つかりません」と表示されます。ホストがルームを開始すると表示が消え、コラボレーション可能になります。



3-3 コラボレーションを実行する「ホスト・ゲスト」

コラボレーションに参加する TREND-CORE VR（ホスト・ゲスト）で、コラボレーションを実行します。

- 1 ホストとゲストの TREND-CORE VR で、「ヘッドマウントディスプレイで開始」または「モニターディスプレイで開始」をクリックして VR を開始します。



- 2 すべての PC で、「コラボレーション」を選択します。

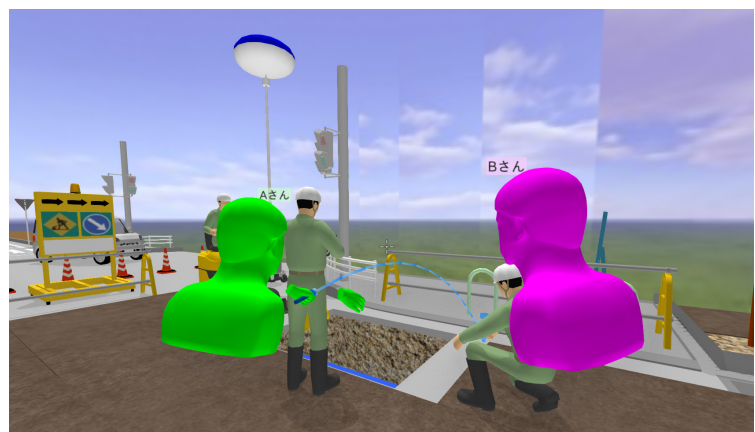


- 3 いずれか 1 台の PC で、コラボレーションする VR データを選択します。

残りの PC では、選択した VR データが自動で開きます。



- 4 コラボレーションした VR が開始されます。



4

補足

CIMPHONY Plus コラボレーション機能の補足事項です。

4-1 プロキシサーバを経由するインターネット回線の場合は

プロキシサーバを経由するインターネット回線では、CIMPHONY Plus コラボレーションは使用できません。
スマートフォンのテザリングなど、プロキシサーバを経由しないインターネット回線をご用意ください。

※ CIMPHONY Plus コラボレーションでは「UDP 通信」を使用します。

(ポート 57200-57206。「ツール」の「オプション」で変更可能。)

※ プロキシサーバにおいては、一般的に外部との UDP 通信が許可されていません。

4-2 複数のネットワークアダプターがある場合は

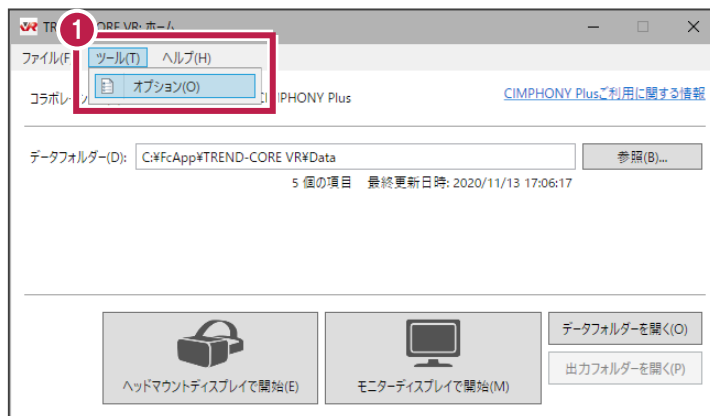
複数のネットワークアダプターがある場合は、ルームの「開始」「再起動」「終了」がおこなえないなどの症状が起きる場合があります。この場合、インターネット接続に使用しているアダプターを指定してください。

複数のネットワークアダプターがある例：

- A) インターネット接続先を有線と無線で切り替えて使用している（社内では有線／社外では Wi-Fi 等）場合
- B) プロキシサーバが導入された環境のため、コラボレーション用にテザリング等の別回線を用意した場合

■ ネットワークアダプターの指定方法（TREND-CORE VR の再起動が必要です）

- 1 「ツール」の「オプション」をクリックします。

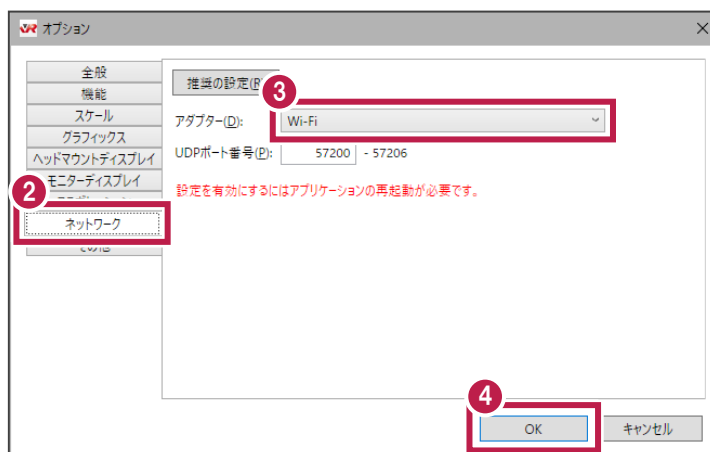


- 2 「ネットワーク」タブをクリックします。

- 3 「アダプター」で、インターネットへの接続で
使用しているアダプターを選択します。

- 4 「OK」をクリックします。

- 5 一旦 TREND-CORE VR を閉じて
再起動します。



以上でネットワークアダプターの設定は完了です。

4-3 360°データ（全天球画像/動画）を使用する場合は

VR 用データに登録する 360°データ（全天球画像/動画）は、あらかじめ CIMPHONY Plus の「共有」フォルダーに登録しておく必要があります。

360°データ（全天球画像/動画）とは拡張子が mp4、jpg、jpeg のファイルで、ファイル情報で「360°データ」が「はい」に設定されている画像・動画ファイルです。

「共有」フォルダー（サブフォルダー可）

拡張子がmp4、jpg、jpegのファイル

「360°データ」が「はい」に設定

ファイル名	登録日時
サンプル（全天球動画）.mp4	2021/08/17 10:41:21
規制（02施工箇所）.jpg	2021/08/17 10:41:21
サンプル（全天球画像）.jpg	2021/08/17 10:41:20

ファイル情報	
ファイル名	規制（02施工箇所）.jpg
フォルダー名	共有/VR画像
サイズ	192 KB
表示縮度	
表示経度	
表示日時	2021/08/17 10:41:21
360° データ	はい
変更履歴	
コメント	
登録日時	2021/08/17 10:41:21
登録者	株式会社コンピュータスマート（株）

表示日時	2020/11/
360° データ	はい
登録日時	2020/11/

4-4 TREND-CORE VRで撮影した画像の自動アップロードについて

TREND-CORE VR で「撮影」した画像は、CIMPHONY Plus の「共有」フォルダーの「TREND-CORE VR」フォルダーに「（VR 設定名）」のサブフォルダーが作成され、自動でアップロードされます。

この時画像ファイル名は、

（VR データファイル名）．（撮影したユーザーのアバター名）．（撮影年月日時刻）．（連番 2 桁）.jpg
になります。

VR リンクフォルダー内の VR データで「撮影」した場合は、

（リンクフォルダー名）．（VR データファイル名）．（撮影したユーザーのアバター名）．（撮影年月日時刻）．（連番 2 桁）.jpg
になります。

また画像ファイルは、撮影したユーザーの PC 内の「CIMPHONY Plus 出力フォルダー」にも保存されます。

「CIMPHONY Plus 出力フォルダー」は、TREND-CORE VR の [ツール] - [オプション] の [一般] タブで設定します。

初期値：C:\Users¥（Windows アカウント名）¥Documents¥TREND-CORE VR¥CIMPHONY Plus¥Outputs